（別紙４）

# 公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | こども発達支援リ・ハビリ初音 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年　7月　22日 | | ～ | 2025年　8月　31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 10人 | （回答者数） | 5人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年　7月　22日 | | ～ | 2025年　8月　8日 |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 3人 | （回答者数） | 3人 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 2025年　9月　1日 | | ～ | 2025年　9月　30日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | （対象数） | 12施設 | （回答数） | 8施設 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年　10月　１日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 訪問支援員の説明や助言が具体的でわかりやすく、すぐ実践できる。 | 訪問支援時に園や家庭で活かせる具体的な支援方法を提案。 | 支援内容や成果をより見える化（記録・共有化）していくこと。 |
| 2 | 支援に関する知識・技術が高く、信頼できる。 | 保護者への説明やフィードバックをわかりやすい言葉で丁寧に実施。 | 保護者への支援内容説明を定期的な振り返り形式にする。 |
| 3 | 保護者・施設との連携が円滑で、相談しやすい雰囲気がある。 | 関係機関との情報共有・打ち合わせを定期的に実施。 | 他機関や地域支援センターとの連携強化。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 訪問支援の日程調整が難しい場面がある。 | 職員数や時間的制約などの人的リソース不足。 | ・業務分担と情報共有の明確化<br>・ケース検討等保育所訪問支援の研修機会を拡充して、支援にあたることが出来るスタッフを増やしていく。 |
| 2 | 訪問支援の目的が説明不足なところがあり、支援が継続され続ける認識を持っているケースがある | ・保育所等訪問支援をより前から開始したケースに対して、介入目的等の説明不足がある。<br>・施設側の新任職員への支援方法の引き継ぎ・教育体制の整備不足。 | ・職員での保育所等訪問支援の在り方を再認識して、説明を丁寧に行っていく。<br>・ICT活用による報告・記録の効率化。 |
| 3 | | | |